

質 問 者	質問事項・内容	答 弁 者	答弁内容（検討事項）	検討・対処結果
飯田議員	<p>◎「豪雨災害」後の問題点について</p> <p>7月、8月の大雨は記録的短時間雨量となり本町においても国道、県道、町道の土砂崩れによる通行止めはもとより、河川の氾濫、ため池が決壊する危険性等で公共災害、農地災害が発生したり、避難勧告発令、自主避難する事態となった。</p> <p>① 107箇所（箇所）の災害は年度内に復旧できるのか？復旧作業に優先順位があるのか？問う。</p> <p>② 避難場所施設に防災無線は全て設置できたのか？問う。</p> <p>◎「農業若手後継者育成」について</p> <p>コメ政策が半世紀ぶりに大きく変わる。基幹産業である本町の農業を守り続けるには後継者育成が最重要課題と捉え、3月定例会につづき再度お伺いする。</p> <p>① 若手後継者を育成する集落営農、農業法人組合に若者雇用の支援策が必要であると考えますが？支援策を問う。</p>	<p>森川地域整備課長</p> <p>木村総務財政課長</p> <p>谷川專業振興課長</p>	<p>① 工事発注については、年度内完成し早期復旧を目指す。が、工事によっては繰り越しする場合もある。地権者や耕作者と協議し、現場の状況に合わせて優先順位を決める予定。</p> <p>② 49箇所の避難場所に対して、現在32箇所は設置済みである。今年度中には10箇所設置を予定しており、残り7箇所も今後設置する予定。</p> <p>① 青年就農給付金やU I ターン支援就農研修費助成事業、半農半X支援事業や農の雇用支援事業、地域おこし協力隊の配置など、国・件の支援策を活用する。</p>	
石川議員	<p>◎医職住対策について問う</p> <p>医については、医療職の確保が急務と考える。医師については地域枠推薦だけでなく、看護師やその他の医療技術者等、他の医療職についても制度を創設する考えがあるか。</p> <p>職については職業選択コースの創設を考える。川本には、農業、林業、商業、医療など就職できる資源はある。しかし、Iターン者を呼び込む場合、ただ過疎の町に来れば仕事があるというだけでは魅力を感じる人はいないと思う。そこで考えなければいけないことは、コースごとに魅力ある条件をつけることだと考えるが、町としての考えを問う。</p> <p>最後に、住については特にU I ターン者向け若者定住住宅について、来年度以降どの様に進めていくのか尋ねる。</p>	<p>三宅町長</p> <p>三宅町長</p> <p>三宅町長</p>	<p>地域推薦枠を利用した看護科への進学については、医療従事者の確保にあたり、有効な制度であるので、高校と連携して取り組み、卒業後の地元での受け皿確保に努める。</p> <p>定住に向けての職は極めて重要な要素であり、丁寧にその情報を提供し、定住に結びつけていきたい。</p> <p>新たな住宅の整備は必要不可欠だと感じている。現在行っているニーズ調査の結果を参考にしながら実現に向けて検討する。</p>	



